

航空機材の種類

■ 貨物機と旅客機

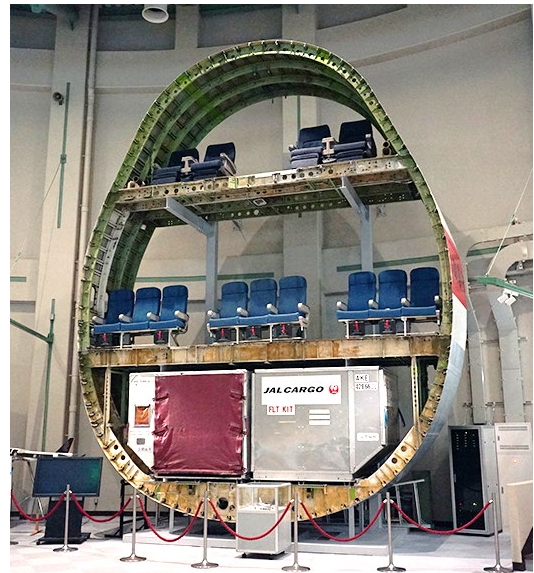


□ 貨物機

貨物専用機は内部を貨物スペース専用としており大量の貨物が輸送可能。またドアが大きいので大型貨物が搭載できる。発着地共に貨物需要の大きな都市間で就航することが多い。

□ 旅客機

航空機の上部を旅客スペース、下部を貨物スペースとして乗客と貨物の両方を輸送するための機材。貨物スペースには乗客の手荷物、郵便物及び航空貨物等が搭載される。



旅客機の断面／写真提供：航空科学博物館

■ 広胴機と狭胴機

□ 広胴機

ワイドボディとも呼ばれる。一般的に使用される大型機材で、旅客室に通路が2本存在する。貨物は航空機への搭載器具ULD（Unit Load Devise）を使用して搭載される。 例：B747、B747F

□ 狭胴機

ナローボディとも呼ばれる。旅客機では機体の幅が狭く旅客室の通路も1本のみの機材。貨物は手積みで直接搭載されるため、受託貨物は人力で運べる荷姿・サイズ・重量の貨物に限られる。近年はナローボディ旅客機の貨物専用機への改造が増加。 例：B737、B737F

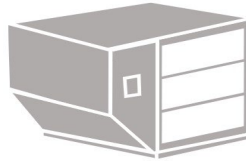
ULDの種類

■ パレットとコンテナ

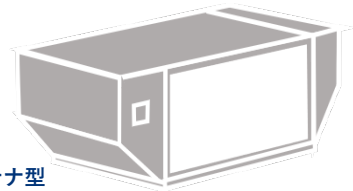
貨物を航空機に搭載する際に使用する器具。貨物スペースにぴったり収まるように設計され、大きくはパレット型とコンテナ型の二つに分けられる。基本的に貨物はULDに組み付けられた上で航空機に搭載される。



パレット型



コンテナ型



航空機への搭載手順



空のULDパレット。



貨物の重量配分や積み付け効率を考慮してULDパレットに組み付ける。



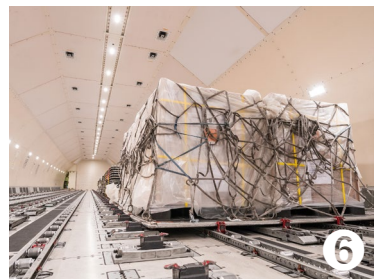
シュリンクラップやビニールシートにより防水・盗難防止対策を施し、仕上げに荷崩れ防止のためネットで固定する。



完成したULDをドーリーで航空機まで運搬。



ULDをローダーで航空機に搭載。



ULDを貨物室に搭載。

輸出フロー

輸入フロー

